



2019年5月9日

各 位

会 社 名 株式会社バローホールディングス  
代表者の役職名 代表取締役会長兼社長 田代正美  
(コード番号:9956 東証・名証一部)  
問い合わせ先 常 務 取 締 役 篠 花 明  
電 話 番 号 (0574) - 60 - 0861

### 「バローグループ中期3ヵ年経営計画」の定量目標更新に関するお知らせ

当社は、2021年3月期を最終年度とする「バローグループ中期3ヵ年経営計画」の定量目標について、下記の通り更新いたしますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 定量目標更新の背景

当社は、2018年5月10日に「店舗数から商品力へのパラダイムシフト」を基本方針とする「バローグループ中期3ヵ年経営計画」を策定し、その実現に向けて取り組んでおります。この間、企業間連携が果たす役割も変容させ、商品仕入・開発にとどまらず、包括的な取り組みへ発展させることで、当社グループのビジネスモデルをより強固なものとするため、当社の完全子会社であった株式会社ホームセンターバローとアレンザホールディングス株式会社（ダイユー・リックホールディングス株式会社より商号変更）との間で、2019年4月1日を効力発生日とする株式交換を通じてホームセンター事業を統合し、同社を連結子会社としております。その結果、2020年3月期よりホームセンター事業の規模が拡大し、セグメント別収益・資産構成に変化が見込まれることから、中期3ヵ年経営計画の基本方針及び重点施策は堅持しつつ、定量目標を更新するに至りました。今後、シナジー効果の創出と併せて、資産効率の改善にも取り組んでまいります。

#### 2. 主要指標・財務政策

##### (1) 定量目標

		2019年3月期 実績	2021年3月期目標	
			策定時	更新
1) 規模	連結営業収益	565,931 百万円	600,000 百万円	<b>680,000 百万円</b>
	連結経常利益	16,091 百万円	18,500 百万円	<b>21,000 百万円</b>
2) 収益性	ROA	5.4%	6.0%	<b>5.6%以上</b>
	ROE	6.7%	8.5%以上	<b>7.7%以上</b>

(2) 財務政策

1) キャッシュフローの創出

- ・収益性の向上により、2021年3月期までの3ヵ年で累計900億円以上の営業キャッシュフローを創出する。

2) 利益配分

① 成長投資

- ・設備投資は年間250～260億円を予定し、そのうち30～40%を既存店投資に充当する。

② 配当（策定時より変更なし）

- ・従来からの配当方針\*に基づき、配当性向25%を目処に、安定的かつ継続的な利益還元を行う。

\*「今後の長期的・安定的な事業展開に備え、企業体質の強化のために内部留保を高めつつ、株主各位に対して、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。この方針に基づき、連結配当性向25%を中長期的目標としております。」

3) 財務規律（策定時より変更なし）

- ・デット・エクイティ・レシオ0.8倍、自己資本比率40%を目安とする。

以 上